

第2次おいらせ町総合計画後期基本計画策定及びおいらせ町役場新庁舎建設に伴う住民懇談会報告書（新庁舎建設抜粋）

次 第

1. 開 会
2. 町長あいさつ（成田町長）
3. 内 容
 - （1）第2次おいらせ町総合計画後期基本計画の策定について（政策推進課）
 - （2）おいらせ町役場新庁舎の建設について（総務課）
4. 閉 会

【 日 程 】

開催日時	対象学区	場 所	参加人数
令和5年2月15日（水） 18時00分～19時50分	木内々小学校区 下田小学校区	中央公民館	35人
令和5年2月16日（木） 18時00分～20時10分	百石小学校区 甲洋小学校区	みなくる館	45人
令和5年2月17日（金） 18時00分～19時30分	木ノ下小学校区	北公民館	26人

令和5年2月15日（水曜日）

おいらせ町立中央公民館

意見要旨

参加者	<ul style="list-style-type: none">・イオンモール下田周辺に建設予定だが、建設費など予算はどれくらいか。・50年を見据えていると説明があったが、イオンモール下田が50年先にあるのか疑問がある。イオンモール下田に頼りすぎていると感じる。・イオンモール下田付近の交差点の交通量が多い。庁舎や病院を建設した後、さらに交通量が増えるのではと懸念している。・徒歩移動について疑問がある。イオンモール下田に徒歩で行く人は少ない。車で行くと思う。・イオンモール下田周辺の面積では狭くないか。
総務課長	<ul style="list-style-type: none">・用地交渉や土地価格調査の作業はこれからであり、精査した上、売買契約の予定である。・イオンモール下田は、平成7年にオープン。当時の下田町がイオンモールを誘致し建設した商業施設であり、町と企業が一緒にまちづくりを行ってきた経緯がある。50年後については不明であるが、当町にとってイオンモール下田の恩恵は多々あると考えている。今後、10～30年の中で町が最大限やれることをしていくという考えである。・土日の交通量が多いと認識しており、庁舎や病院により交通量が増えることは想定される。現時点では不明な部分であり、建設後の交通量によって、国道を管理する国土交通省と協議することになる。・徒歩移動の考え方だが、庁舎と病院が建設された場合、病院の入院者やその家族が、歩いて商業施設と往来ができるということ。
参加者	<ul style="list-style-type: none">・建設後、交通量が今より増えるため、徒歩移動は危険ではないか。徒歩移動を考えるのであれば、交通面の安全性確保も必要ではないか。
総務課長	<ul style="list-style-type: none">・具体的な内容については、次年度以後の検討となる。様々なご心配はあると思うが、具体的に検討する段階で、イオンモール下田と調整を行い整備していきたい。
参加者	<ul style="list-style-type: none">・おいらせ病院の駐車場が狭い。病院の駐車場は広いほうが良いと思う。イオンモール下田周辺で、広い駐車場を確保できるのか疑問である。
総務課長	<ul style="list-style-type: none">・現在の本庁舎や分庁舎、病院、駐車場の面積を合計すると、30,000㎡程度となる。イオンモール下田周辺の最大想定面積は45,000㎡程度である。
参加者	<ul style="list-style-type: none">・建設用地は、令和4年度中に決めるということだが、令和5年3月31日までに決めるということによりか確認する。
総務課長	<ul style="list-style-type: none">・令和5年3月31日までに候補地を決定する。地権者との用地交渉は、それ以後からである。
参加者	<ul style="list-style-type: none">・決定であればどうにもならないが、意見を言いたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・念願の新庁舎建設は嬉しく思う。 ・候補地に示した当局の考えには賛成しかねる。土地の面積や形状に疑問がある。新庁舎建設は、新庁舎や病院だけの問題ではなく、この建設がまちづくりの核になるようにするべきである。町施設の老朽化も見据えて、より広い候補地を選定するべきだと考える。今後、学校の統廃合も考えられる。また、庁舎周辺に川口地区の住宅を誘導するなど、安心安全なまちづくりをお願いしたい。 ・国道45号から間木・百石1号線まで広く取得した方がよいのではないか。建設候補地として、イオンモール下田に近くて便利という理由だけで決めて良いのか疑問である。 ・新庁舎建設には期待している。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は候補地であり、候補地が決定した後、地権者との交渉や売買契約が生じる。予算も伴うため議会の承認が必要であり、役場の場所を決めるための条例も必要となる。用地を決定するだけでも相当の手続きがある。場所については多くの意見があると思う。これまで外部委員会からの意見聴取を行い、それを基に、災害区域やインフラ整備問題などを考慮して検討してきた。その結果、本日示した案で進めたいと考えている。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・土地購入や庁舎建設、病院建設など、多くのお金が掛かるが、財源はどうなるのか知りたい。現在の庁舎を何億も掛けて直していると聞いた。建設するお金が町にあるのかという不安がある。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費は、建物で30～40億を想定している。用地取得や外構工事を併せると40～45億になると思われる。建物の仕様によって事業費は大きく変わる。病院も同様である。事業費は他市町村の建設費用を参考に想定した金額である。 ・財源は、合併特例債を見込んでいる。合併した自治体が、合併に必要なものに使える起債であり、約32億円の残額を庁舎建設に見込んでいる。また、公共施設整備基金が約10億円ある。この財源を庁舎整備に使う。 ・先程、公共施設の話も出たが、施設の耐用年数が50年程度であり、多くの施設がその耐用年数を迎えている。多くの自治体は財政難であり、新たな建設は難しいため、複数ある施設を1つにしたり、長寿命化を図り既存の施設を使用したりという取り組みを行っている。人口減少や少子高齢化が進んでいるため、体育館や公民館などの既存施設を新築移転することは難しい。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の面で将来の子どもたちに負担が残らないようにしてほしい。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・町にとって負担の無いような財政運営を考えて進めたい。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・3カ所の候補地から1つに決定した際に、上下水道などのインフラ整備も考慮したということで、建設に際しては、長く使える庁舎にして、近辺に住宅地を形成していければ良いと思う。 ・本日示された候補地は、地盤の良い土地とは言えないし、イオンモール下田と同様の高さであるため、津波被害がないのか心配である。国道沿いや間木・百石1号線であれば、高さがあるので安心できる。 ・私が最も懸念することは、イオンモール下田建設時に電気を引き込んだと思うが、当時、その電気の下に住むのは嫌だという声が多か

	<p>ったと記憶している。電磁波の影響が心配であり、病院がその電磁波の影響を受けるのが不安である。</p>
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤は、地質調査を行い建設可能か判断する。また、エリアで候補地を選定しているため、エリア内のどこに何を建設するかは未定である。 ・高圧電流に関するご意見だが、東北電力に確認したところ、電磁波の影響はないと伺っている。電線の真下には、地役権が設定しており、その場所に高い建物は建設できない。 ・土地の高さだが、住宅展示場は10mであり、その北側は13.2mである。国道45号沿いは12.4mであり、比較すると展示場の部分はやや低いものの、その北側の13.2mやさらに北の19.6mに建設することも考えられる。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの質問や説明を聞いて思うことだが、候補地は変更しないという回答に感じる。候補地を変えることはあるのか確認したい。「示された候補地は反対だ」という意見が出ている。場所は決まっていないと説明するものの、候補地を変更しないような説明である。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・この候補地で進めたい。ご理解いただきたい。
副町長	<ul style="list-style-type: none"> ・町の考えだが、この候補地で決定したい。ただし、懇談会を実施した結果、この候補地が絶対ダメだという意見が多数であれば、変更を考えざるをえない。しかし、日程を考えると、今、場所を決めないと庁舎建設はできないと考えている。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・日程が遅れても良いのではないのか。
副町長	<ul style="list-style-type: none"> ・先程、説明した合併特例債の期限があるため、この日程で進めないと間に合わないということである。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・町が示した候補地で決定だということによいか。
副町長	<ul style="list-style-type: none"> ・町は、この場所が最良だと考えている。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・場所について意見を言っても、場所は変わらないということによいか。
副町長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、みなくる館や北公民館の3カ所で懇談会を行う。懇談会を終えた結果、この候補地は反対だという意見が大半であれば、再度考えなければならない。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・合併特例債の期限に間に合わない場合はどうなるのか。
副町長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の建物を使うことになる。新庁舎建設の財源がなくなるので、修繕しながら現庁舎を使うしかない。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・町は、そこまでの説明を先にしたほうがよい。そもそもスタートが遅かったということか。
副町長	<ul style="list-style-type: none"> ・合併して直ぐに場所を決めることができれば良かったが、諸事情がありスタートが遅れた。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・反対の意見が多いようだが、他の意見はないか。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール下田と一緒にまちづくりを行うという視点は良いと思う。実際、弘前市の「ヒロロ」では、商業施設の中に役場機能があり、住民にとって行政の見える化が進んでいる。住民と行政の距離が近いと感じた。

令和5年2月16日（木曜日）

おいらせ町みなくる館

意見要旨

参加者	<ul style="list-style-type: none">・土地利用基本方針の将来展望ということだが、間木からイオンまでの通りには宝が埋まっているのではないかと。遺跡の区域になっているはずである。庁舎を建設すれば、その周辺に住宅を建てる人がいると思う。そのため、宝を掘って、農地を住宅地に変えて、住宅を建設できるようにすれば、素晴らしい住宅街になると思う。・分庁舎の耐震工事に3億8千万円掛けたと記憶しているが、令和12年度の新庁舎業務開始後に、元の庁舎を壊さず貸すことも考えてはどうか。
総務課長	<ul style="list-style-type: none">・候補地付近は、埋蔵文化財包蔵地となっている部分もあり、開発する際に発掘調査を終えるというルールがある。庁舎建設の際に発掘が必要であれば、適切に調査を実施し建設することになる。・現在の本庁舎と分庁舎の取扱いは未定であるため、ご意見として承る。分庁舎は耐震工事を行ったが、今後何十年使えるのか不明である。その辺も考慮しながら、今後の対応を考えたい。
参加者	<ul style="list-style-type: none">・役場を移動しなければならぬのか。2ヵ月に1度、本庁舎に行くが、床が崩れたり、雨漏りしたり、使えない状態とは思えない。前町長に話を聞いたところ、3億円以上掛けて役場を直したため、少しの地震では大丈夫と言われた。両方の役場をそのまま使い続けてはどうか。その中で旧町の調和をするようにしてはどうか。何でもかんでも下田に持っていかず、今のままでお願いしたい。商工会も下田に移った。・この前の大雨のとき、秋堂と木崎の通りが通行できなくなり、消防が交通誘導していた。災害の放送が無かったのは、この近辺でおいらせ町だけである。
総務課長	<ul style="list-style-type: none">・庁舎建設の考え方について懇談する機会であるのでご理解いただきたい。庁舎について説明する。・新庁舎を建てる理由だが、分庁舎は48年、本庁舎は40年経過し、耐用年数である50年に近づいている。今は良いが、これから10年経過すると、庁舎を使い続けることができるのかという懸念が生じる。また、分庁舎は、大津波や洪水の浸水区域に建ち、本庁舎は、洪水の浸水区域に建っている。そのため、浸水区域外に新たに建設しなければならない。・財源の心配もあると思う。合併した自治体が利用できる合併特例債という有利な起債を庁舎建設に使うことができる。起債の3分の2は国から戻るといふ借金である。これが約32億円使うことができる。十和田市や南部町も合併特例債を使って庁舎を建設した。合併特例債の使える期限は令和12年度である。合併特例債を使うことができる事業として、最後の大きな事業である。令和12年度から逆算すると、今年度に候補地を決定しなければ間に合わない。・なぜこのタイミングで建設しなければならないのか、ということだ

	<p>が、今後10～20年経過し、庁舎の耐用年数が経過した際、その時に建設する財源がないため、合併特例債が使える期間で建設することが望ましいと考えている。</p>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併特例債を期限までに使うということだが、平成18年に合併し17年経過し、その間、町長選挙が4回あり、いずれも統合庁舎の建設を公約に掲げていたにも関わらず、遅くなったことにより物価や資材が高騰したことで、32億円で足りないかもしれない。町民を津波や洪水から守るといっているのであれば、もっと早く検討してほしい。 ・ 間木・百石1号線に庁舎を建設するものだと思っていたが、上下水道などのインフラ整備の関係で、別の場所を候補地にしたと思う。役場や病院が建設されると、その周辺に住宅が建設され市街地が作られる。イオンモール下田周辺は、庁舎や病院の面積は確保できるかもしれないが、市街地の形成ができる要素がない。また、今後の人口減少を考えると、イオンモール下田がいつまであるのか疑問である。そのため、間木・百石1号線が候補地として良いと考える。将来的に社会教育施設や介護福祉施設など、多くの施設建設も考えられることから、将来を見据えて用地を取得してほしい。間木・百石1号線を除いた理由を詳しく説明してほしい。この図を見ても、庁舎と病院は建設できるにしても住宅が近隣に建設できるとは思えない。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着手が遅くなったことはご指摘の通り。説明申し上げた通り、平成25年に新庁舎建設に着手したが、そこから10年掛けてようやく見通しが立った。この間、オリンピックによる資材高騰など経費が増大する要因もあった。 平成25年に、外部有識者で構成した庁舎整備検討委員会で、イオンモール下田周辺が最適であると意見をいただいていたが、一部に市街化調整区域があったり、都市計画の関係で進まなかったり経緯がある。 ・ イオンモール下田が今後もあるのか、という問題は、誰にも分からないことである。また、このショッピングセンターは、当時の下田町が、有料道路のインターチェンジ建設に合わせて、大型商業施設を誘致し、一緒にまちづくりをしたいという思いで、当時のジャスコの建設に至った。イオンモール下田があることで、様々な恩恵があると考えている。住み心地ランキング青森県1位や全国的に人口が減る中で、当町は減らずに推移しているなど、一緒にまちづくりをしてきたことによる効果だと考えている。確かに、イオンモール下田が撤退されると困るが、町が今出来ることを最大限行うことで、庁舎と病院をこの場所に建設し、イオンモール下田とのまちづくりを進めたい。 ・ 1番目（間木・百石1号線）を外した理由は、次のとおりである。消去法で考えると、3番目（国道45号沿い）は、面積が不足しており、1番目は、上下水道や歩道整備などインフラ整備をする必要がある。インフラ整備により、庁舎整備とは別に、数億の経費が掛かることに加え、公共下水道の許認可による圏域負担金の増額や、その周辺地権者への受益者負担が発生することなど、係る経費の増

	<p>大や地権者の負担が見込まれる。このようなことから、2番目のイオンモール下田周辺はインフラ整備が既になされていることや、商業施設が徒歩圏内のため、まちづくりの相乗効果が期待できると考えられることから適地と判断した。</p>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール下田は、ひとつの企業であるため、儲けがなければ撤退する。また、公共施設が建設されると、その周辺には街が出来る。そのため、周辺が開発可能である1番目の場所が良いと思う。インフラ整備がないため、初期費用が掛かるということは理解できるが、町が示した候補地は、将来の発展見込みがないと考える。確かに庁舎や病院の利便性は上がるかもしれない。別の問題だが、土日の交通ラッシュがさらに助長されると心配する。今後、道路整備も注目していきたい。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞は、昨日も意見が出た。確かに、現在の土日の交通量は多いと理解しているが、役場への用事は平日が主だと思われる。役場や病院の建設により、今以上に渋滞が起きるのであれば、国道45号を管理する国土交通省と交通量調査を行うことで、交通渋滞を緩和する施策を講じることになるが、混むかもしれないという予想で事業を行うことは出来ない。この問題は、建設後の課題となる。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・先程、何でもかんでも下田に持っていかないでほしい、という質問があったが、百石商工会は、土地が役場、建物は商工会の所有であり、東日本大震災後に、耐震の関係で百石の2階で会議が出来なくなった。このため、合併後10年で商工会が使用していた場所を町に戻すことにした。 下田の商工会は、多くの企業から寄付を募り、立派な駐車場や建物を建設した。このことから、合併後の商工会が下田の建物に移るのは、当たり前だと考える。私だけではなく、前会長も同じ考えであった。この点をご理解いただきたい。 ・町へのお願いだが、説明資料に記載している整備方針は、とても大事なことなので、なるべく片仮名を使わず、解りやすい表現で記載してほしい。町のシンボルとなる庁舎だが、お金を掛けて立派な庁舎にするという意味ではなく、町民が親しみを持ち、行きやすい庁舎という理解であるため、その辺も分かり易い説明をお願いしたい。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご要望として承る。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・分庁舎が水害の避難所になっているが、今後閉鎖されるのか見通しを知りたい。 ・本庁舎や分庁舎が閉鎖された際、地元の町内会に開放するかどうか、その意思があるか確認したい。まだ決まっていないと思うが、要望としてお願いしたい。回答は不要である。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎と病院の説明を聞いたが、交流センターや中央公民館はどうなるのか。中央公民館は、老朽化が進んでいる。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・旧庁舎の利用は今後検討する。再利用が可能かどうか、また、再利用するとすればリフォームの範囲はどの程度かを考える。本庁舎の話为例にするが、もし、本庁舎を再利用すると判断すれば、中央公民館を壊して、本庁舎に中央公民館機能を持たせるといことも考

	えられる。町民交流センターは、十分に使用可能なため、そのまま利用し続ける。いずれにしても、今後の検討となる。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・要望である。 新庁舎と病院の建設は、今後の町の100年計画の始まりだと考えている。これまで、町長選挙が行われる度に色々あり、建設が遅れてきたことは事実である。 それはさておき、今後は、町が1本になり庁舎を起点に邁進してほしい。 ・コロナ禍により、百石まつりや下田まつりが休止に追い込まれた。例えば、庁舎建設による都市計画の概要として、街路づくりにより、この道路で両町のまつりを行えば、新しいまちづくりになると考える。そのような夢のある街路づくりを検討してほしい。 ・先日、コンビニで住民票の発行をした。デジタル化に備えて、職員も切磋琢磨して他の自治体に負けないようにしてほしい。県知事を輩出したように、それに相応しい町になってほしい。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご提言に感謝する。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・おいらせ病院は、町長公約の通り、津波や洪水の浸水区域にあるため、入院患者の命を守るために賛成する。財源が示されていないため、建設には不安がある。 ・役場新庁舎の移転は反対である。本庁舎は、1～2mの浸水想定だが、そのような災害が起きた時は、周辺が全て浸水しているため、諦めるしかない状況である。役場は病院と違って、上で仕事ができるのではないか。 ・証明書のコンビニ交付や確定申告がインターネットで可能になっており、役場に行かなくても良いようになってきているため、立派な庁舎は不要ではないか。 ・現庁舎は、耐震補強がなされ、まだまだ使用できるのではないか。財源に合併特例債があり、これを使わないと損をするという説明に聞こえたが、これは町の借金だということ。7割が国負担、3割が町負担になる。庁舎建設だけで100億円になったとすれば、30億が町の借金になり、大変なことになる。事業費を資料に出してほしい。建設工事費は、資材の高騰により増額される見込みがあるため、将来の財政負担を総合的に判断する必要がある。過去、財源不足で、21億円の多目的ドームが凍結している。その事業費を上回ると想定されるが、庁舎や病院の建設が可能なのか、心配である。財源不足で住民サービスの低下、各種補助金の削減が懸念される。具体的に除雪回数の減少。また、物価高騰や燃料費の高騰により、農業や水産業が困っているため、それを救う方が先ではないか。さらに、4月から下水道料金が3割上がる。 借金をやめて下水道料金を上げずに維持してはどうか。 ・参考に、野辺地町の庁舎は、築60年使ったようである。町の庁舎は、まだ20年使える。役場に行く機会も減り、コンビニで証明書が発行できる。このことから、1階が浸水しても役場機能は維持できるのではないか。 ・候補地に関して、役場内での政策会議や庁議で決定するのではなくて、おいらせ町全体から住民投票して決定してほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・おいらせ病院職員の9割が、庁舎建設より病院移転の方が先だと思っていると聞いている。ちなみに、病院には医師の確保が必要であり、1億円位の医師住宅を建設しないと、おいらせ町のような田舎に来てくれないと思う。そのようなことを考えると、何十億というお金が掛かるのは目に見える。新庁舎が必要なのか疑問であり、今のままで良いのではないかと考える。ぜひ、予算的な部分を説明いただきたい。 ・町長のあいさつに、最終決定はまだしていないとのことなので、住民投票を、ぜひ、実施していただきたい。
総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ご提言、ご質問、ご自身の考え、様々いただいた。初めに、事業費についてお答えする。事業費は建物の構造により全く異なる。事業費は、庁舎建設した近隣市町村を参考に算出した概算費用であるが、約30億円と想定している。この約30億円は借金となる。将来の財政負担を考慮して、住民サービスの低下が起らないように、財政計画を進めるため、ご理解いただきたい。繰り返したが、事業費は、明確に回答できないが、建物で約30億円、付帯工事を考えると約40億円になると考える。100億円という数字が出たが、そこまでの建物は考えていないし、華美な建物ではなく、なるべく安く建てたいと考えている。ただし、長期間使用できる建物にするため、相当の事業費が掛かるとご理解いただきたい。 ・お見込みの通り、今は庁舎が使える状況だが、数十年が経過し耐用年数を迎えたとき、その時に、庁舎を建設したいとなった場合は、使える財源が無く建設が難しい。合併特例債が使える期限内なので、このタイミングで建設したいと考えたものである。 ・野辺地庁舎の話が出たが、野辺地町は合併特例債が使えない。おそらく、過疎債を利用したと思われる。当町は、過疎地ではないため、過疎債は使えない。各自治体が、庁舎の老朽化による建替えを迎えるが、その時々で使える起債や積立金、また、将来の財政負担を考慮して建設しているのが実状である。 ・病院は、合併特例債が使えないため、病院独自の積立金や企業債、病院関係の補助金を充てにするとすると思う。本日の意見は、行院担当へ申し伝える。 ・手続きの話だが、本日は、候補地を示したものである。どの時点をもって決定かということだが、議会手続や地権者との交渉が今後生じるため、それをもって決定となる。それまでは、候補地という考えで進める。

令和5年2月17日（金曜日）

おいらせ町立北公民館

意見要旨

参加者	<ul style="list-style-type: none">私が描いていた新庁舎の場所は、広いスペースのある豊栄であった。豊栄は標高が50mで庁舎や病院、文化施設、道路を整備することで、新都市として発展すると思う。示された場所は、イオンモール下田の山の中であり、明るい展望が見られない。今更、変更は出来ないと思うが候補地の再考をお願いしたい。
総務課長	<ul style="list-style-type: none">庁舎の建設候補地について、豊栄というご意見をいただいた。候補地については、それぞれ考え方があると思う。候補地として決めた経緯は説明申し上げた通りであり、平成25年の庁舎整備検討委員会から始まり、それを基に候補地の選定を行ってきた。平成25年からイオンモール下田周辺が適地という意見があり、10年の作業の中で現在の候補地に至る。また、町総合計画にある土地利用方針の中で、イオンモール下田、インターチェンジ周辺を都市創出拠点と位置付けしている。このことから整合性があり、町で将来の展望を考えて候補地を選んだため、ご理解いただきたい。総合計画の説明の際、アンケートの話があったが、候補地選定段階でアンケート調査は考えていない。庁舎建設に関して、町民の意見を聞かないということではなく、場所が決まった後、どういう建物にしたほうが良いのかを決める段階で、ワークショップや外部委員会など、町民の意見を取り入れたい。
参加者	<ul style="list-style-type: none">新庁舎は防災拠点となるが、示された45,000㎡という面積は、災害時の避難者や支援者、災害車両やヘリポートなどの対応が可能な面積であるか。
総務課長	<ul style="list-style-type: none">面積について説明する。現況の面積は、本庁舎16,000㎡、分庁舎3,000㎡、分庁舎駐車場2,000㎡、病院5,400㎡、河川敷駐車場1,200㎡、合計約28,000㎡弱の現状であるが、新庁舎で求める最大の面積は45,000㎡である。そのため、現在の3つの施設より十分に大きい面積を想定している。ただし、今後地権者との交渉が生じるため、必ず最大面積を取得できると言えない。最大で45,000㎡を想定しているのご理解いただきたい。また、災害救助に関して、ヘリポートの整備等は今後検討していく。
参加者	<ul style="list-style-type: none">スケジュールに関する質問だが、防災観点や行政サービスを考えると、7年というスケジュールが適切であるか疑問である。平成25年に構想があったということなので、ある程度の基本構想があると思うため、5年位で早期の建設をした方がよいのではないか。新庁舎には、災害時の1次避難所としての機能を整備する予定はあるか。
総務課長	<ul style="list-style-type: none">ご指摘の通り、平成25年に新庁舎の検討が始まって以来、スケジュールが遅れてきたこともあり、なるべく早く建設したいと考えているが、想定スケジュールはギリギリのスケジュールである。来年度中には、具体的な庁舎や病院の建設場所など、基本構想を策定

	<p>し、お示ししたスケジュールを遅れないように進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・避難所の件について、津波の場合は、自宅付近の集会所や高台へ、洪水の場合は、河川より離れた場所へ避難してほしい。庁舎は、災害本部となる施設であり、指示や調整など、コントロール機能となるため、避難所と切り離して考えている。
--	---